伊場 哲也 議員

人口戦略会議の「消滅可能性自治体」の分析結果の公表について

問 県内22市町が「消滅※可能性自治体」に該当するとした人口戦略会議の結果を市長はどう受け止めたのか率直な考えを伺う。

答 本市は近隣の中で唯一「消滅可能性自治体」に該当せず、厚労省から発表された合計特殊出生率も1・31で県北東部では最も高い数値。公表結果については素直に受け止め、これまでのまちづくりが方向性として間違っていなかったという励みとし、引き続き少子化対策や子育て支援等の各種施策に取り組んでいきたい。

※消滅可能性自治体…解説は16ページ。

旭市総合戦略の取り組みについて

問 子宝育成プロジェクト16事業のこれまでの成果を伺う。

答 総合戦略の点検・評価のため毎年作成している重点施策マネジメントシートに基づき、令和4年度実績で回答する。合計特殊出生率は、基準値1・43に対し実績は1・30、県の平均を上回り、全国平均と同じ率。出生数は、基準値396人に対し実績は334人、基準値を10％以上下回った。

子ども・子育て支援事業計画について

問 次期計画に新たな支援策として取り入れようとしている事業はあるのか伺う。

答 これから実施する各課とのヒアリングで、具体的な対策、施策について検討していく。

問 子育て支援に関するアンケート調査の報告書を次期計画にどう生かそうとしているのか。

答 皆様の要望が表れていると思うので、関係各課と協議しながらどのような施策を計画に盛り込んでいけるのか検討したい。

多世代交流施設『おひさまテラス』について

問 中高生が利用するにあたり工夫した点を伺う。

答 夏季休業中は自由研究や趣味に利用可能な施設の利用料金を半額にし、受験期間中は学習スペースとして一部施設を無料にする等の取り組みを実施した。

その他の質問事項

○旭市合併20周年を迎えることについて。

一般質問の内容をもっと知りたい方は

▶▶ QRコードからアクセス！

一般質問の内容をもっと知りたいという方は、スマートフォンやタブレット端末で質問議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

※動画の再生には大量のデータ通信を行うため、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。